

まぐせのやしろ
万九千社 立虫神社



神戸の郷

第七九号 令和四年陽春
「発行」四月吉日 代宮家（錦田）

桜吹雪のなか、新年度を迎えました。希望に胸を膨らませ、人生の新たな門出を踏み出した方もたくさんいらつしやることでしょう。疫病退散までもう少しの辛抱と思われまふ。皆で力を合わせこの難局を乗り越えて参りましょう。さて、神在月に全国の神さまが参集し、会議の締めくくりと直会（なおいらい）と呼ばれる宴を催し、各地へお旅立ちなさる万九千さん。日本中の天神・国神・八百万神をお祭りする当社では、その年の天下泰平、五穀豊穰と飲食業・旅

行宿泊業をはじめとする諸産業の繁栄、無病息災、諸願成就をお祈りする春祭り奉祝祭を奉仕します。神さまと神社から見れば、縁あつて神立千家に暮らす全ての人々が「氏子さん」です。どなたも遠慮なくお参りのうえ、感謝と祈りのまごころを捧げましょう。



今季の祭より

五月四日（水）

みどりの日

春祭り奉祝祭 「小」なほらひ

（兼）疫病退散祈願祭

当社の春祭奉祝祭は、「出雲の地酒と食の祭典 大なほらひ」と称し、平成二八年、約六〇年ぶりに再興した賑やかなお祭りです。

ところが、「昨年、昨年、今年と悪しき疫病の禍事によりまして、飲食を伴う盛大な祭典行事の開催は断念せざるを得なくなりました。

そこで、今年も「小なほらひ」と称し、「三密」を避け、地元、神立・千家の方を対象に、神事と出雲神楽奉納、お餅撒き、お菓子撒きのみを行います。縁日につきものの露天商さんの出店予定もあります。

また、春祭りに併せて、疫病退散祈願祭も行います。

一日も早く新型コロナウイルスが退散し、当たり前の日常生活が戻りますようお祈りします。



【当日の祭事予定】

午前10時〜 祭典神事

午前10時30分〜12時

出雲神楽奉納 地元社中

「七座 清米」

「七座 四方剣」

「神能 八戸」八岐大蛇退治

午後1時〜

「神能 茅の輪」

奉納 万九千社立虫神社神代神楽社中

午後1時30分〜3時頃

出雲神楽 特別奉納

国指定 重要無形民俗文化財

大土地神楽

保存会神楽方

(出雲市大社町)

なんと、今年は国の重要文化財にして、出雲大社のお膝元、大土地神楽保存会神楽方（おおどちかぐらほそんかい）の皆様による出雲神楽の特別奉納があります。

およそ四百年の歴史を誇る

出雲を代表する神楽の醍醐味を、八百万神さまと共に心ゆくまでお楽しみ下さい。

奉納演目は次のとおりです。

〔奉納演目（予定）〕

一、「野見宿禰」

「ご存じの相撲の元祖、相撲の始ま

りの物語です。

出雲国の野見宿禰が垂仁天皇に招かれて、大和の国で当麻蹶速と力比べを行います。

大土地神楽独自の神能です。

二、「大恵比寿」

大国主大神の御子息で、美保神社に祀られている事代主命（えびす様）が鯛釣りをなさる姿を舞奏でます。見る人全てに、幸福、吉事をもたらすという縁起の良い神能です。

三、「八戸」

有名な須佐之男命による八岐大蛇退治の神話を表した演目です。大蛇の姿はとてもユニークで、「とかげ蛇」と呼ばれます。古式の出雲神楽の舞振りをも今に伝える貴重な神能です。

午後3時30分頃

餅まき・菓子まき

春祭りの最後を飾る、皆様お待ちかねの神事です。お楽しみに！



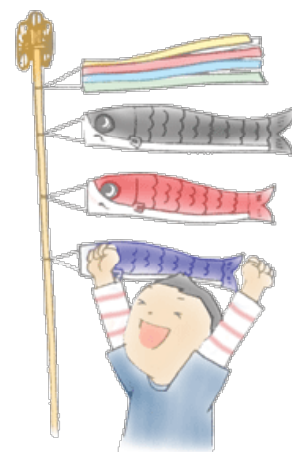
大土地神楽 「野見宿禰」



大土地神楽 「大恵比須」

(画像提供 阿礼)

大土地神楽 「八戸」



《あとがき》 ▼万九千神社「令和の森づくり」事業(第四期)の主要事業である参集殿・授与所の改築整備工事はまもなく竣工の運びとなりました(左上は、工事中の現場写真です)。

▼当社の神社総代、神楽保存会の皆様をはじめ、多くの方の御奉賛と格別の御協力により、麗しく使い勝手の良い参集殿・授与所が立ち現れました。誠にありがとうございます。この場をかりまして改めまして厚く御礼を申し上げます。▼今後とも清らかな社殿、美しい境内、社頭景観を地域の皆様のお力を基に、末永くおまもりしていくべく決意を新たに致しました。

▼春祭りの大土地神楽の特別奉納と締めくくりのお餅撒き、お菓子撒きは、心ばかりですが、宮司の感謝の気持ちを込めまして執り行う所存です。皆様お誘い合わせのうえ、どうぞお参り下さい。

(文責 宮司 錦田剛志)